

平成 23 年度事業報告

平成 23 年度は、東日本大震災による未曾有の大災害や東京電力福島第一原子力発電所事故にかかる風評被害等により、観光産業を取り巻く環境は一段と厳しいものとなった。

このような中であって、6月に平泉の文化遺産が世界遺産に登録されたことをはじめ、名古屋線、福岡線等の航空路線が再開・増便されるとともに、花巻空港の並行誘導路の利用開始等による国際便の受け入れ態勢が強化されたほか、東北地方の高速道路が休日無料化されるなど、観光産業にとって追い風も見られた。

こうした状況の下、平泉の文化遺産の世界遺産登録の機を捉え、岩手県内の観光産業の振興・復興に資することを目的とし、「つなげる・つながるまごころ運動」と連動した誘客を促進するため、「好きです岩手！つなげようサポーターズ1万人キャンペーン」を展開したほか、ホームページでの平泉や沿岸部の特集や教育旅行・観光客誘致説明会、さらには、いわてDCのプレキャンペーン等による情報発信などを通じて観光客の誘致を図ってきたところである。

この他の事業においても、県、市町村及び各観光協会並びに観光関係団体の実施する各種事業と連携して、東日本大震災で落ち込んだ県内観光産業の復興に向け、本県の魅力ある観光資源の宣伝と観光客の誘致拡大に努めた。

I 観光事業

1 誘致宣伝事業

(1) 観光情報高度化推進事業

岩手県観光ポータルサイト「いわての旅」の管理運営を行い、各種祭りやイベント等の観光情報、桜の開花、紅葉やスキー場情報等をタイムリーに発信した。

また、「世界遺産平泉特集」、「避暑地特集」などを作成し、誘客に努めた。

年 度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度
アクセス件数 (対前年度比)	1,642,060 件 (74.6%増)	1,684,238 件 (2.6%増)	1,588,159 件 (5.7%減)

(2) 観光宣伝事業等負担

(社)日本観光振興協会、岩手県空港利用促進協議会、みちのく五大雪まつり推進協議会、チャグチャグ馬コ保存会等の観光団体に負担金を支出するなど、各種事業の支援を行った。

2 受入態勢整備事業

(1) 「いわて観光おもてなしセンター」管理運営

協会内に「いわて観光おもてなしセンター」を設置して、手紙、電話及びメール等により寄せられる本県の観光に係る苦情、意見・提言等に対応した。

① 苦情等対応状況

区 分	件 数	主 な 内 容
意見	2 件	① HP 観光画像ダウンロード三陸海岸の素材について (電話) ② HP 観光画像素材の撮影者著作権について (電話)
要望	1 件	③ 湯の華会の活動の周知について (電話)
苦情	3 件	④ 観光地のトイレについて (電話) ⑤ インターハイにかかる宿泊施設の予約について (電話) ⑥ 観光地の飲食店、土産店の対応について (メール)
計	6 件	

② 観光情報等問合せ状況

区 分	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度
観光相談	1,995 件	2,234 件	1,818 件
資料送付	1,661 件	1,660 件	1,261 件
合 計	3,656 件	3,894 件	3,079 件

(2) 観光土産品改善事業

観光産業の振興に重要な役割を果たしている観光土産品の品質向上を図るため、第 52 回岩手県観光土産品推奨審査会を開催し、観光土産品の推奨を行った。

併せて、ホームページ「岩手県観光ポータルサイト “いわての旅”」に推奨品を紹介した。

- 推奨審査会 平成 23 年 11 月 30 日（水）
- 推奨期間 平成 24 年 1 月 1 日～平成 25 年 12 月 31 日（2 年間）
- 推奨点数 71 点（申込点数 75 点）

(3) ボランティアガイド育成事業

県内各地で活動する観光ボランティアガイドのガイド技術の向上とボランティアガイド団体相互のネットワーク化を目的に設立した「岩手県観光ボランティアガイド連絡協議会」（事務局：社一関観光協会、加入団体 23（支援・サポート団体 12））団体に支援を行った。

(4) 観光業務優良従事者表彰

観光業務に従事する職員の意欲の高揚と資質の向上を図るため、「いわて観光の日」において優良従事者表彰を行った。

- ・ 期 日 平成 23 年 5 月 16 日（月）（於：ホテルホトリン盛岡本館）
- ・ 被表彰者 10 名

《宿泊施設関係》 3 名 (順不同、敬称略)

推薦団体	所 属	氏 名
(財)盛岡観光コンベンション協会	盛岡ターミナルビル(株) ホテルホトリン盛岡本館 宿泊課主任	高安 直子
	盛岡ターミナルビル(株) ホテルホトリン盛岡ニューウイング 宿泊課副主任	中居 めぐみ
(社)花巻観光協会	花巻温泉(株) ホテル花巻 支配人	菅原 義博

《交通機関関係》 5名

推薦団体	所 属	氏 名
(財)盛岡観光コンベンション協会	岩手中央タクシー(株) 配車センター 主任	関田 光子
遠野市観光協会	遠野交通(株) 本社乗務員	菊池 晃
(社)岩手県バス協会	ジェイアールバス東北(株) 盛岡支店 運転主任	田上 晃
	岩手県北自動車(株) 盛岡営業所 観光バスガイド	立柳 愛弓
	岩手県北自動車(株) 盛岡営業所 観光バスガイド	大森 友季

《その他》観光土産品店、観光協会、観光施設関係 2名

推薦団体	所 属	氏 名
大船渡市観光物産協会	大船渡市観光物産協会 綾里物産観光センター「銀河」	橋本 悦子
(財)岩手県観光協会	(財)岩手県観光協会 観光振興部 課長代理	細川 純子

(5) 観光関係人材育成研修事業

① 観光サービス研修事業

「おもてなし」に関する基本的な内容や心構え等を再確認するとともに、業務スキルの向上を目指して、(社)日本観光振興協会との共催で研修を行った。

- ・ 開催日 平成23年11月15日(火)
- ・ 会 場 岩手県水産会館 5階大会議室
- ・ 受講者 90名
- ・ 講 師 ANAラーニング(株) 飯塚 順子 氏他

② 地域密着型観光人材育成研修事業

地域の観光リーダー育成のため、地域に根ざした観光を担う人材として必要な知識やスキルの習得を目指して、(社)日本観光振興協会との共催で研修会を開催した。

- ・ 開催日 平成23年11月28日(月)
- ・ 会 場 いわて県民情報交流センター(アイーナ)
- ・ 受講者 44名
- ・ 講 師 NPO法人グローバルキャンパス理事長 大社 充 氏
NPO法人ハットリ・オパーク代表理事 鶴田 浩一郎 氏

II 広域観光振興事業

1 誘致宣伝事業

(1) 北東北三県観光立県推進協議会事業

同協議会が企画・実施する事業に会員として参画し、広域観光の振興を図った。

(2) 外国人観光客誘致宣伝事業

① 国際旅行博への出展

第19回台北国際旅行博（ITF2011）に出展し、本県の観光宣伝を行った。

名 称	主 催	会期・会場	来場者数等	参加概要（岩手県）
第19回台北国際旅行博 （ITF2011）	（財）台湾観光協会	H23. 11. 11 ～11. 14 （4日間） 台北世界貿易センター	約 251, 231 人 58 カ国・地域 809 団体出展	・東北ブロック広域観光振興事業推進協議会（参加：岩手県、（財）岩手県観光協会、花巻市、花巻温泉（株）、（株）岩手ホテル&リゾート、東北6県、新庄・最上・湯沢・大崎地域視察団、東北観光推進機構、（社）日本観光振興協会東北支部） ・ブース数：4 ・日本主催商談会に参加（11/10） ・ブースでの観光相談（11/11～11/14）

(3) 東北観光推進機構事業

同機構に会員として参画し、東北広域観光の振興を図った。

2 受入態勢整備事業（外国人観光客受入態勢整備事業）

(1) 花巻空港国際チャーター便歓迎行事

いわて花巻空港を離発着する国際チャーター便（台湾、韓国）運航に対応して、「花巻空港国際チャーター便歓迎実行委員会」で歓迎行事を実施した。

また、出入国審査等の手続きが円滑に行われるよう、毎回、通訳 2～7 名を配備した。

	平成 21 年度		平成 22 年度		平成 23 年度	
	運航回数	入国者数	運航回数	入国者数	運航回数	入国者数
合 計	36 回	3,918 人	23 回	2,671 人	10 回	596 人
春季（4～6 月）	12 回	1,085 人	7 回	909 人	- 回	- 人
夏季（7～8 月）	- 回	- 人	- 回	- 人	2 回	215 人
秋季（9～11 月）	22 回	2,706 人	9 回	1,054 人	4 回	299 人
冬季（12～3 月）	2 回	127 人	7 回	708 人	4 回	82 人

(2) 「V」案内所運営助成費

JR 盛岡駅 2 階に設置されている「V」案内所の運営経費の一部を助成した。

3 拠出金

(社)日本観光振興協会に対して、全国広域観光振興事業拠出金を負担した。

Ⅲ 観光岩手情報発信強化事業

1 パブリシティ有効活用事業

新聞等を活用し、本県の観光情報について近県を中心として全国に向けて発信した。

掲載年月日	掲載新聞・雑誌等名	発行部数等	内 容
H23. 5. 2	情報ライブミヤネ屋	日本テレビ系 全国ネット	・北上コロッケ ・平泉
H23. 5. 11 H23. 11. 1	笑福亭晃瓶のほっかほかラジオ	K B S 京都 (ラジオ)	・アスピーテライン ・チャグチャグ馬こ ・平泉
H23. 7. 14	東北 Walker	10 万部	・八幡平 ・鶯宿温泉郷、つなぎ温泉郷、湯田温泉峡
H23. 7. 29	ジャパネットチャンネルDX 「平泉中継スペシャル」	C S 放送	・平泉 ・わんこそば など
H23. 9	FDA 機内誌「ドリーム 3776」	3 万部	・平泉 ・えさし藤原の郷など
H23. 12	YELLOW! FREE WAY	50 万部	・平泉 ・スキー場 ・温泉など
H23. 10. 22	産経新聞（東北版）	10 万部	・「のびゆく秋の東北 6 県特集」に、「世界遺産平泉と三陸への旅」を紹介
H24. 1. 5 H24. 2. 26 H24. 2. 27	東京新聞	55 万部	・「岩手へ行こう」の欄に雪まつり、カキ小屋、展勝地などを紹介
H24. 3	オズマガジン	12 万部	・展勝地など
H24. 3	タウン情報誌 7 誌	25 万部（東北 6 県、栃木県）	・4月のDCイベント ・桜情報

2 イベント等支援事業

宿泊、交通等の団体及び広域観光組織とタイアップして、首都圏等を対象とした広域観光キャンペーンへ支援を行うとともに、各種イベントの後援等を行った。

(1) 各種キャンペーン支援事業

- ① 「陸中海岸国立公園協会観光PR事業」支援
- ② 「いわてウィンターリゾート協議会PR事業」支援及び「ウィンターリゾート2012」への出展協賛等

(2) 後援、共催

「春の不動の滝チャリティー」（主催：(社)八幡平市観光協会）等、39 イベント等に対する後援・共催を行った。

3 誘客対策事業

(1) 教育旅行誘致促進事業

教育旅行の誘致拡大を図るため、主要なターゲットである北海道（札幌市、函館市）及び東京都並びに大阪府（岩手県南広域振興局との共催）において説明会を開催したほか、札幌市の中学校キャラバン等の訪問活動を実施し、本県の教育旅行の受入態勢について紹介宣伝を行った。

また、本事業の効果的な推進を図るため、本県の観光情報や体験学習メニューを紹介する教育旅行用ガイドブック『体感！感動！ワクワクいわて』を作成した。

① 教育旅行誘致説明会

〈岩手県修学旅行誘致説明会（主催事業）〉

開催地	実施日	参加状況
東京会場（ホテルメトロポリタンエドモント）	H23. 8. 25	首都圏の旅行会社等の教育旅行担当者(11社26名)、岩手県側（39名）
函館会場（函館国際ホテル）	H23. 9. 6	函館市及び周辺の中学校の担当教諭及び旅行会社等の教育旅行担当者（5校6名、3社7名） 岩手県側（51名）
札幌会場（ホテルニューオータニ札幌）	H23. 9. 7	札幌市及び周辺の中学校の担当教諭及び旅行会社等の教育旅行担当者等（14校24名、旅行会社7社20名）、岩手県側（52名）

《岩手県教育旅行誘致説明会 IN 大阪（主催：岩手県南広域振興局）》

開催地	実施日	参加状況
大阪会場（大阪第一ホテル）	H23. 12. 15	大阪圏の高校等の学校関係者及び旅行会社等の教育旅行担当者（3校3名、10社23名）、岩手県側（35名）

② 訪問活動

実施日	訪問先	訪問者
H23. 7. 25	北海道 PTA 連合会事務局長	教育旅行誘致宣伝部会（幹事長、事務局3名）
H23. 7. 26	北海道中学校長会会長	
H23. 7. 28	函館市中学校長会事務局長	
H23. 7. 26 ～ 7. 27	札幌市の市立中学校（93校）	教育旅行誘致宣伝部会（幹事8名、部会員等19名、事務局3名）
H23. 9. 8	北海道中学校長会会長 札幌市中学校長会会長 北海道新聞社	教育旅行誘致宣伝部会（事務局3名）

③ 体験メニューガイドブック作成

名 称	作成部数
岩手県教育旅行ガイドブック「体感！感動！ワクワクいわて」	2,000部

(2) 観光客誘致説明会

首都圏の旅行エージェントを対象に、東日本大震災からの復興をアピールするとともに、世界遺産登録となった平泉の文化遺産をはじめとする本県の観光の魅力を紹介宣伝するとともに、旅行商品造成に向けた説明会（商談会）を開催した。（いわてDC旅行商品造成促進販売会議時に開催）

会 場	実 施 日	参 加 状 況 等
東京会場 ホテルメトロポリタンエドモンド	H23. 10. 4	旅行会社（31社45名） 岩手県側（130名） ※個別商談会

4 情報発信強化事業（マスコミ・エージェント招待事業）

(1) マスコミ招待

首都圏等のマスコミを本県に招待し、岩手へのさらなる誘客を図った。

実施日	招待者	主な視察先等
H23. 7. 9～11 (2泊3日)	中日新聞社（名古屋）1名	巖美溪、平泉、えさし藤原の郷、 大沢温泉、宮沢賢治記念館

(2) 観光キャラクター活用事業

岩手県のPRキャラクター“わんこきょうだい”のグッズを各種観光キャンペーン等において配布し、岩手県の観光イメージのPRを図った。

また、わんこきょうだい携帯ストラップ 6,304 個をキャラクター毎にそれぞれ地域限定で販売し、岩手県内各地域への誘客を図った。

5 観光案内所運営事業

(1) 北東北観光センター運営

本県の観光情報の提供を行い、本県を訪れる観光客の利便性の向上を図るため、JR盛岡駅2階の北東北観光センターの運営経費の一部を助成した。
(来訪状況等)

区分	平成21年度	平成22年度	平成23年度
来訪件数	23,000件	18,442件	19,793件
電話・書面	1,059件	947件	834件
宿泊案内	1,327件	1,077件	1,093件

(2) 「V」案内所運営等観光情報提供事業

国際観光振興機構の指定（H16.3.26）を受けて当協会事務局内に設置している「V」案内所において、外国人旅行者に対して観光情報を提供するとともに、国内旅行者に対しても観光情報を提供するため嘱託職員1名を配置した。

	平成23年度
問合せ別件数	窓口：0件 電話：0件 FAX：0件 電子メール：123件
内容別件数	イベント・個人旅行・観光一般：0件 印刷物：122件 交通：1件 宿泊：2件 食事：0件 娯楽：0件 生活、その他一般：0件

6 県外事務所観光振興支援事業

東京、大阪、名古屋及び福岡の大都市圏において、本県への観光客の誘致を一層促進するため、岩手県の県外事務所が実施する誘致宣伝事業等に対して支援を行った。

県外事務所	事業実施内容
岩手県東京事務所	・いわて銀河プラザ装飾費用 ・報知新聞折込での読者プレゼント購入費用
岩手県大阪事務所	・「堺まつり」に参加する盛岡さんさ踊り団体の参加費用補助
岩手県名古屋事務所	・月刊スターキャット広告費（宮古に泊まってありがとうキャンペーン）
岩手県福岡事務所	・旅情報誌「遊人」（秋号）の記事作成及び取材経費

7 国際観光支援事業

台湾における観光セミナー及び商談会への参加

東日本大震災等の影響により、大きく落ち込んだインバウンドの回復と台湾プログラムチャーター便の春季復活のために実施された、岩手県主催の観光セミナー及び商談会に参加し、本県の情報を発信した。（H24. 2. 5～8）

8 いわてデスティネーションキャンペーン推進事業

いわてデスティネーションキャンペーン推進協議会会費の支出やイベント等への対応を行った。

《主な対応状況》

実施日	場所	イベント名等
H23. 10. 4（火）	東京都 ホテルメトロポリタンエドモンド	いわてDC旅行商品造成促進販売会議
H23. 11. 17（木）	一ノ関駅等	いわてDCプレキャンペーンイベント「SLがんばろう岩手号」試乗会
H24. 2. 23（木） ～ H24. 2. 26（日）	東京都 JR三鷹駅、八王子駅、国分寺駅、立川駅	JR東日本八王子支社管内観光キャラバン
H24. 3. 15（木） ～ H24. 3. 17（土）	盛岡市 盛岡市民文化ホール他	いわてDCスタートアップミーティング・エキスカーション

9 元気な“いわて”発信事業

全国から案内があった復興支援を含めた「観光と物産展」等に出展し、東日本大震災からの復興をアピールするとともに、世界遺産登録となった平泉の文化遺産をはじめとする本県の観光の魅力をPRと元気な岩手を紹介し誘客の促進を図った。

(1) 観光関係催事における情報発信

- ① 2011 夏の海と山観光展（主催：(社)日本観光振興協会関東支部）
 - ・ 対応日 H23. 6. 26（日）～6. 27（月）
（出展期間：H23. 6. 26（日）～ 6. 27（月））
（全体会期：H23. 6. 24（金）～ 6. 27（月））
- ② 夏サカス 2011（主催：東京放送ホールディングス他）
 - ・ 対応日 H23. 7. 15（金）～ 7. 24（日）
（出展期間：H23. 7. 16（土）～ 7. 24（日））
（全体会期：H23. 7. 16（土）～ 8. 28（日））
- ③ 岩手県の物産と観光特別展「名古屋丸栄展」
（主催：(社)岩手県産業貿易振興協会）
 - ・ 対応日 H23. 10. 19（水）～10. 26（水）
（会期：H23. 10. 20（木）～ 10. 25（火））
- ④ 2012 冬の旅・早春の旅観光展（主催：(社)日本観光振興協会関東支部）
 - ・ 対応日 H23. 12. 12（月）～12. 13（火）
（出展期間：H23. 12. 12（月）～ 12. 13（火））
（全体会期：H23. 12. 10（土）～ 12. 13（火））
- ⑤ 第 39 回東京モーターサイクルショー
（主催：東京モーターサイクルショー協会）
 - ・ 対応日 H24. 3. 22（木）～ 3. 26（月）
（会期：H24. 3. 23（金）～ 3. 25（日））
- ⑥ きやっせ物産展 2012（主催：ちばコープ）
 - ・ 対応日 H24. 3. 24（土）～ 3. 25（日）
（会期：H24. 3. 25（日））

(2) いわて旅の回廊作成

本県への観光客の誘致拡大を図るため、岩手県総合観光ガイドブック「いわて旅の回廊」を作成（5,000部）した。

IV 受託事業

1 北東北三県・北海道ソウル事務所管理運営

北東北三県及び北海道が共同で設置した韓国ソウル事務所について、管理運営を実施した。また、韓国旅行会社等を対象に本県の観光資源を紹介宣伝し、誘客の促進を図った。

(1) 北東北三県・北海道ソウル事務所観光商談会

	実施日	会場等	参加者等	内容
第1回	H23. 9. 20	ソウルプレジデントホテル（大韓民国ソウル市）	韓国側旅行関係者等 95社136名 日本側企業 51社71名	秋・冬季の観光資源説明、観光パンフレットの配布
	H23. 9. 21	旅行エージェント等訪問	5社	岩手県側訪問者8名
第2回	H24. 3. 6	ソウルプラザホテル（大韓民国ソウル市）	韓国側旅行関係者等 59社92名 日本側企業 46社66名	春・夏季の観光資源の説明、観光パンフレットの配布
	H24. 3. 7	旅行エージェント等訪問	6社	岩手県側訪問者6名

(2) 観光招請事業

① モニター招待事業

モニター（一般読者）、雑誌者を招請して、本県の冬季観光の魅力を、雑誌やHP等で広く情報発信した。

実施日	招請者	主な視察先等
H24. 1. 27～1. 30 (3泊4日)	モニター2名、マスコミ2名 合計4名	安比高原スキー場、わんこそば、あさ開酒蔵、らら・いわて

② 韓国AGT連携ファーム事業

秋田県と連携して旅行商品造成の参考とするため、韓国旅行エージェントを招請して、世界文化遺産平泉、紅葉スポットなどの観光地や空港施設等を視察していただき、本県等の受入状況を理解いただいた。

実施日	招請者	主な視察先等
H23. 9. 26～9. 29 (3泊4日)	AGT 8社 8名	世嬉の一（酒蔵博物館）、平泉、いわて花巻空港、小岩井農場、八幡平

2 いわてのおもてなし推進事業

本県の観光の拠点となる盛岡駅において、観光サポーターを北口へ配置、観光客等に対して観光案内などの支援体制を整備し、観光客の利便性、満足度の向上を図った。また、観光客へ配布する観光総合ガイドブック“いわて旅の回廊”(10,000部)、“いわての温泉”(7,000部)を増刷するとともに、いわてDC仕様のビニール袋を作成、キャンペーンのPRに努めた。

時期	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月	計
件数	2,501	5,430	3,142	3,055	14,128

3 台湾マスコミ招請事業

外国人観光客誘致の有力マーケットである台湾における岩手県の知名度向上を図り、岩手県へのさらなる誘客を図った。

実施日	招請者	主な視察先等
H23. 6.25～6.27 (2泊3日)	マスコミ8名	手づくり村、鶯宿温泉、平泉、花巻温泉、小岩井農場

4 岩手県における国際的観光需要創出に向けた調査事業

岩手県における国際的観光需要創出に向け、イベント事業や現地視察会を実施し、参加者からアンケート調査を行った。

① 平泉世界文化遺産登録&東北復興祈願イベント事業

イベント名	実施日	会場	内容等
「平泉大文字まつり・夢灯り」PR事業	H23. 8. 16	平泉町内毛越寺通り等	中尊寺と毛越寺を手作りの「夢灯り」で結び、浄土を彷彿させる景観を醸し出した。
東北復興支援チャリティコンサート事業	H23. 9. 11	平泉町毛越寺	世界的なジャズバンドの演奏により、岩手の元気な姿、観光等のPRを図った。
世界文化遺産登録記念郷土芸能PR事業	H23. 9. 24 ～9. 25	平泉町観自在王院跡	沿岸部等本県の郷土芸能を披露し、本県の伝統文化及び観光情報を発信した。

② 着地型観光の促進による観光需要創出事業（現地視察会）

視 察 名	実施日	招 待 者	主な視察先
国内旅行 AGT 等現地視察会（第1回）	H23. 12. 7 ～12. 9 (2泊3日)	首都圏の旅行会社 9社13名	平泉、宮古市田老地区被災地、浄土ヶ浜遊覧船、三陸鉄道、龍泉洞、もりおか歴史文化館等
国内旅行 AGT 等現地視察会（第2回）	H23. 12. 14 ～12. 16 (2泊3日)	首都圏の旅行会社・マスコミ6社6名	平泉、碓氷海岸、えさし藤原の郷、花巻市文化財センター、遠野ふるさと村等
海外マスコミ等現地視察会	H23. 12. 20 ～12. 21 (1泊2日)	駐日海外マスコミ・国内ランド社7社7名	東家わんこそば、浄土ヶ浜、北山崎（展望台・サッパ船・津波語り部体験）、龍泉洞等
韓国マスコミ現地視察会	H24. 1. 11～ 1. 14 (3泊4日)	韓国マスコミ、ブロガー4名	松川温泉、小岩井農場、狛鼻溪、世嬉の一（酒蔵博物館）、平泉、えさし藤原の郷等
海外 AGT（国内ランド社）現地視察会	H24. 2. 28～ 2. 29 (1泊2日)	国内ランド社 18社27名	狛鼻溪、平泉、浄土ヶ浜遊覧船、宮古市田老地区被災地、龍泉洞等

5 いわて三陸観光情報発信強化事業

被災後の沿岸地域の復興状況等をいち早く伝え、元気な三陸をPRするため、「いわて三陸観光情報ポータルサイト」を新設。

現地観光関係者が投稿できるシステムを作成し、沿岸の最新情報を投稿し、三陸への誘客を図った。また、再開した観光施設等の取材をし、特集記事としてタイムリーに発信した。

6 台湾旅行エージェント等招請事業

外国人観光客誘致の有力マーケットである台湾における岩手県の知名度向上を図り、岩手県へのさらなる誘客を図った。

実 施 日	招 請 者	主な視察先等
H23. 9. 22～ 9. 24 (2泊3日)	AGT社20名 教育関係者8名	小岩井農場、手づくり村、鶯宿温泉、巖美溪、毛越寺、中尊寺、花巻温泉
H23. 10. 4～10. 5 (1泊2日)	合計28名	

7 台湾テレビ東北取材支援業務

台湾の旅行番組制作に係るテレビ取材を支援することで、本県の最重要マーケットである台湾における岩手県の知名度向上を図り、岩手県へのさらなる誘客を図った。

実施日	招請者	主な視察先等
H23. 10. 15～10. 17 (2泊3日)	マスコミ9名	厳美溪、安比高原、八幡平、わんこそば、鶯宿温泉、平泉、花巻温泉

8 韓国マスコミ・モニター招請事業

韓国における岩手県の知名度向上を図り、岩手県への更なる誘客を図った。

実施日	招待者	主な視察先
H24. 1. 27～1. 30 (うち1. 29分)	韓国のフリーマガジン「M25」 記者1名、カメラマン1名、モニター2名 合計4名	雫石スキー場、平泉（中尊寺、毛越寺、文化遺産センター）、鶯宿温泉

9 台湾等旅行エージェント・メディア招請事業支援業務

外国人観光客誘致の有力マーケットである台湾等における岩手県の知名度向上を図り、岩手県へのさらなる誘客を図った。

実施日	招請者	主な視察先等
H24. 2. 4～2. 9 (5泊6日)	AGT社、マスコミ計53名	手づくり村、安比高原、小岩井農場、猊鼻溪、平泉、花巻温泉、宮沢賢治記念館、盛岡市内
H24. 2. 13～2. 14 (1泊2日)		
H24. 3. 14～3. 16 (2泊3日)		

10 大連市旅遊局・香港EGLツアーズ社招請事業支援業務

外国人観光客誘致の有力マーケットである香港等における岩手県の知名度向上を図り、岩手県へのさらなる誘客を図った。

実施日	招請者	主な視察先等
H24. 3. 5～3. 7 (2泊3日)	大連市旅遊局16名 AGT社1名	花巻温泉、大沢温泉、手づくり村、鶯宿温泉、わんこそば、厳美溪
H24. 3. 12	合計17名	

V 県業務移管事業

観光宣伝媒体作成事業

本県への観光客の誘致拡大を図るため「いわて旅地図」を作成した。

- ・ いわて旅地図 (作成部数 310,000部)

VI 今こそ岩手へ誘客促進事業

平泉の文化遺産の世界遺産登録の機を捉え、「今こそ東北へ今こそ岩手へ 好きです岩手！つなげようサポーターズ1万人キャンペーン」を実施し、誘客の促進と消費の拡大を図った。

実施期間	内容等	旅行会社	県内参加施設
H23. 7. 15～ H24. 2. 29	旅行会社で岩手県の宿泊旅行を予約されたお客様1万人に、クーポン券1千円を配付し、3,426人のお客様がこれを使用した。	首都圏等の旅行会社5社 (JR東日本・びゅう、JTB、近畿日本ツーリスト、日本旅行、トップツアー)	岩手県の宿泊、入浴、飲食店、物産販売、観光施設等 275施設